

# DENON

STEREO CD PLAYER

ステレオ CD プレーヤー

## DCD-1650GL



### 取扱説明書 目次

1	主な特長	2
2	ご使用になる前に	2
3	設置上のご注意	2
4	このセットを安全にご使用いただくためのご注意	3
5	各部の名称とはたらき	4~9
6	接続のしかた	10
7	ディスクホルダーの開閉とディスクの入れかた	11
8	通常の演奏のしかた	12
9	いろいろな演奏のしかた	12~22
	(1)好みの曲を演奏するとき (2)演奏途中で次の曲に移るとき (3)演奏途中で曲の頭に戻るとき (4)曲の中からさらに細かい部分を探すとき	

	(5)好みの曲を好みの順番で演奏するとき (6)全曲をくり返して演奏するとき (7)任意の1曲のみをくり返すとき (8)途中で演奏を一時的に止めておくとき (9)早聴きしながら好みの曲を探すとき (10)曲の間に無音部を挿入するとき (11)頭出しをして演奏を止めておくとき (12)順不同に演奏するとき (13)テープのA面・B面に編集録音するとき (14)好みの位置でフェード・アウトやフェード・インするとき (15)ディスクのピークレベルを探すとき (16)演奏の速度を変えるとき	
--	---	--

10	タイマー演奏のしかた	23
11	コンパクトディスクについて	23
12	リモコンによる演奏のしかた	24~25
13	故障かな?と思う前に	26
14	保証とサービスについて	26
15	主な仕様	27

■ お買上げいただき、ありがとうございます。  
■ 本機の特長を十分に發揮してご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい操作で末永くご愛用くださいますようお願いいたします。尚、万ご使用中にわからないことや不具合が生じたときのために、お読みになったあと必ず保存してください。

梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

1	取扱説明書	1
2	保証書	1
3	接続コード(ピンコード)	1
4	リモートコントロールユニット(RC-240)	1
5	R6P(単3形)乾電池	2

# 1 主な特長

DCD-1650GLは、コンパクトディスクに収録されたスタジオ、またはライブ会場の音場をそのまま再生するようPCM再生系に於ける音質劣化を除くデンオン独自のラムダスーパーリニアコンバーターを採用すると共に、厳選された部品を用いて高性能でかつ音楽性豊かな音場再生を行うCDプレーヤーです。

## 1.リアル20ビットΔS.L.Cの採用

PCM再生系において、音質劣化の主因であるゼロクロス歪を原理的にゼロにする新回路「ΔS.L.C」(ラムダスーパーリニアコンバーター)を採用。分解能の優れたリアル20ビットD/Aとの組み合わせにより、特に小音量時の音楽再現能力を極限まで高めました。

さらに、片チャンネルあたり2個のD/Aを使用し、16倍オーバーサンプリング動作させることにより、一層のノイズ低減と分解能の向上を達成。音楽性豊かな音場再生が可能となりました。

## 2.強力電源搭載

デジタルサーボ回路用の巻線を独立させた大形トランスを採用。

さらに、大容量平滑コンデンサとの組み合わせにより、余裕ある電源供給を実現しました。

## 3.豊富な機能

テープ編集に便利なタイムエディット・オートエディット・ピークサーチ・フェーダーをはじめ、ピッチコントロール・リモコン音量調節などの豊富な機能を搭載しました。

## 4.シンプルなデザイン

普段あまり使用しない機能はトラップドア内に納め、シンプルで高級感あるデザインに仕上げました。

## 5.バランス出力を装備した音声出力系統

キャノンコネクタのバランス出力を装備しました。FIXがバランスとアンバランスの2系統、VARIABLEがアンバランスの1系統、で計3系統の出力系を持ちプロ用にも十分対応できる3再生としました。

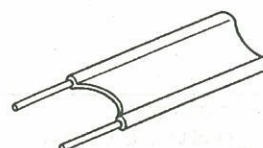
# 2 ご使用になる前に

ご使用になる前に、次のことにご注意ください

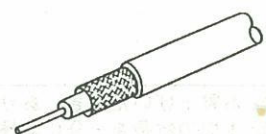
- セットの移動  
セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防止するために、必ず電源プラグを抜き取り、他のオーディオ機器との接続コードを取り外してから移動させてください。
- 電源スイッチを入れる前に  
各部の接続に間違いはないか、接続コードに異常はないか、今一度確認してください。接続コードを抜き差しする場合にも必ず電源スイッチを切った状態でおこなってください。
- 取扱説明書を保管してください。  
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。
- 説明のためのイラストは原型と異なる場合があります。
- CDプレーヤーは半導体レーザーを使用しています。安定した動作で音楽を楽しむため、5°C~35°Cの室温でご使用することをおすすめします。

# 3 設置上のご注意

- 本機やマイクロコンピュータを搭載した電子機器を、チューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー、テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には、次の点に注意してください。
  - 本機をチューナーやテレビから、できるだけ離して設置してください。
  - チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。
- 特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300Ωフィーダー線

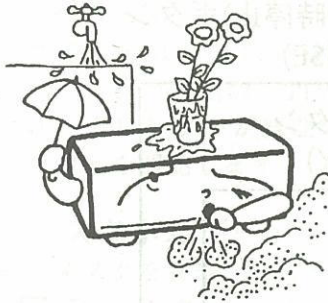


75Ω同軸ケーブル

# このセットを安全にご使用 いただくためのご注意

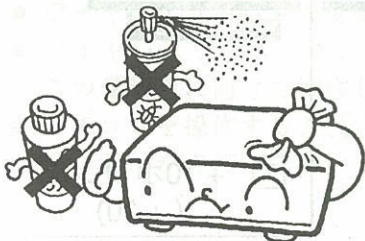
## 湿気や水、ホコリは禁物

湿気やホコリの多い所に置かないでください。



## キャビネットのお手入れ

汚れをふき取るときは、柔らかい布を使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



## 電源コードは大切に

プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないで、必ずプラグを持って抜いてください。



## 高温にご注意

直射日光が当たる所や暖房器具の近くに置かないでください。

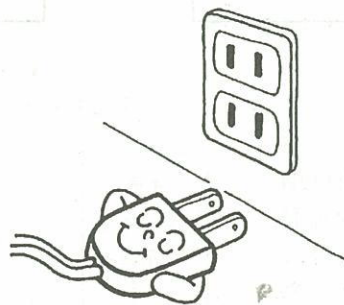


## ラック内設置の注意

ラック内に設置する時はラック内に十分な開口部を設け放熱をおこなうようにしてください。

## 留守にするとき

長時間の外出、旅行などでご使用にならないときは、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。



## 内部に異物を入れない

針、ヘアピン、硬貨などを入れないでください。



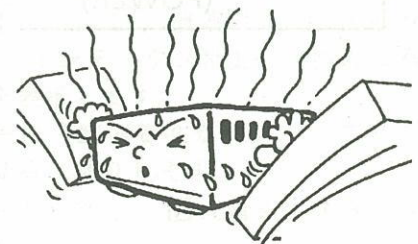
## キャビネットは開けない

キャビネットの上カバーや底ぶたを開けて内部に手を入れると危険です。開けないでください。



## セットの通風孔をふさがない

セットの通風孔をふさぐと故障の原因になります。



## ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- 隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



## 1 電源スイッチ

### (POWER)

- 電源が入るとTRACK NO. に (111) が点灯し、ディスクが装着されていない場合は数字表示 (111 00 111 111) とカレンダーが点灯します。ディスクが装着された状態で電源を入れると数秒後TRACK NO. にそのディスクの総曲数、TIMEに総時間が表示され、カレンダーが総曲数まで点灯し、その後演奏を開始します。

## 2 ディスクホルダー

- ディスクを装着するところです。
- 5 ディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)を押すと開閉します。
- 8 プレイボタン(▶PLAY)、9 ポーズボタン(⏸ PAUSE)、6 テンキーボタンを押しても閉じます。

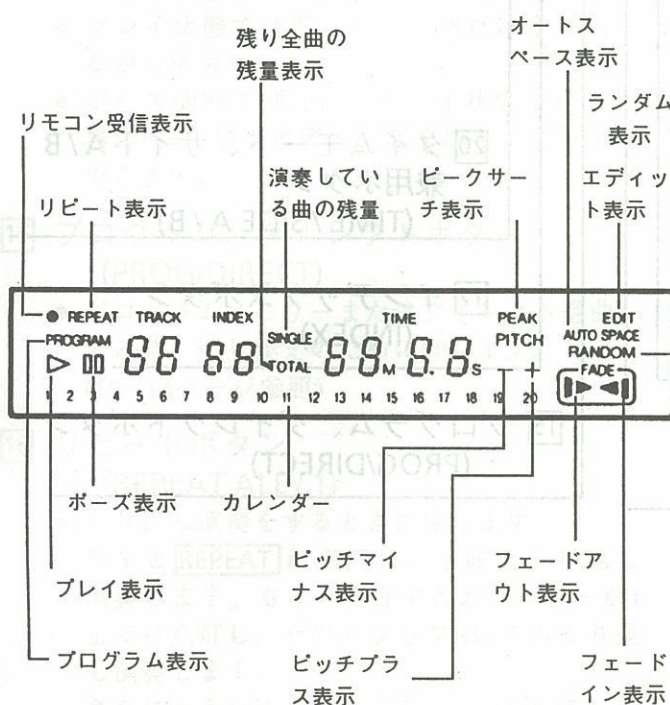
## 3 リモコン受光部

### (REMOTE SENSOR)

- ワイヤレスリモコンの受光部です。
- ワイヤレスリモコンユニット(RC-240)は、この受光窓に向けて操作してください。
- リモコンを操作すると、4 表示窓のリモコン受信表示が点灯します。

## 4 表示窓

- 表示窓には、TRACK NO. (曲番)、インデックス、演奏時間、カレンダーなどが表示されます。



## 5 ディスクホルダー開閉ボタン (▲ OPEN/CLOSE)

- 2 ディスクホルダーを開閉するときに押します。
- 押すと2 ディスクホルダーが前面に開き、もう一度押すと閉じます。
- ディスクが装着されていれば閉じた後、数秒で4 表示窓にそのディスクの総曲数、総時間が表示されます。

## 6 テンキーボタン

### (0-1-2-3-4-5-6-7-8-9)

- ダイレクト選曲またはプログラムメモリーをするときに押します。
- 例えば、ダイレクト選曲する場合は、3曲目を演奏したいとき3 のボタンを押せば3曲目の演奏を開始します。12曲目を演奏したいときは +10、2 と押してください。また、プログラムをするときは、15 プログラム、ダイレクトボタン(PROG/DIRECT)でPROGRAMモードにします。

## 7 +10ボタン

### (+10)

- 10以上の曲を選曲する時に押します。
- 6 テンキーボタンと合わせて使用し、例えば、15曲目を選曲するときは +10、5 と押します。同様に30曲目を選曲するときは +10、+10、+10 と押し最後にテンキーボタンの0を押します。

## 8 プレイボタン

### (▶PLAY)

- ディスクを演奏するときに押します。
- 押すと▶が点灯し、演奏中のトラックNO.(曲番)、インデックスNO.その曲の演奏経過時間を表示します。カレンダーは、総演奏曲が点灯し、演奏し終わった曲は順に消灯します。
- 最終曲の演奏が終ると▶は消え、ストップ状態になります。
- ディスクホルダーにディスクを装着して、プレイボタンを押すとディスクホルダーは閉じて演奏を開始します。

## 9 ポーズ(一時停止)ボタン

### (⏸ PAUSE)

- 演奏を一時停止させるときに押します。
- 演奏中にポーズボタンを押すと、演奏を一時停止し、⏸ が消え ⏸ が点灯します。
- 一時停止を解除するときには、プレイボタンを押すか、ポーズボタンを再度押します。

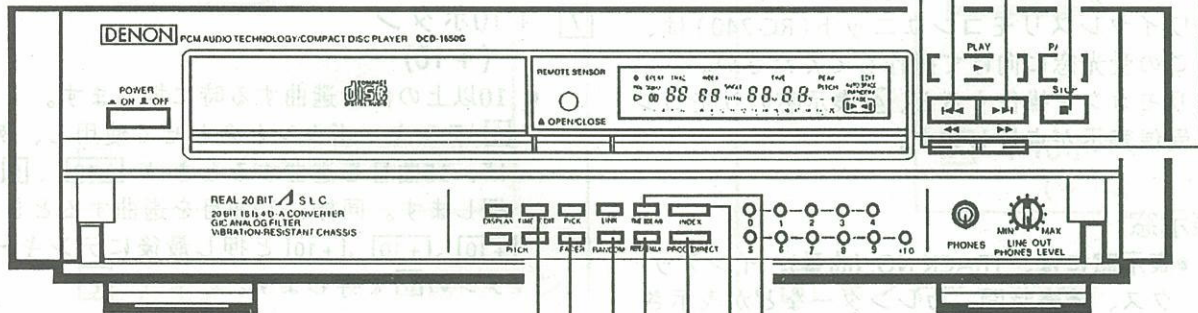
14 マニュアルサーチ・フォワードボタン  
(▶▶)

10 ストップ(停止)ボタン  
(■STOP)

12 オートマチックサーチ・フォワードボタン  
(▶▶▶)

11 オートマチックサーチ・リバーズボタン  
(◀◀◀)

13 マニュアルサーチ・リバーズボタン  
(◀◀)



21 タイムエディット  
(TIME EDIT)

19 フェーダーボタン  
(FADER)

18 ランダムプレイボタン  
(RANDOM)

16 リピートボタン  
(REPEAT ALL/1)

20 タイムモード、サイドA/B  
兼用ボタン  
(TIME/SIDE A/B)

17 インデックスボタン  
(INDEX)

15 プログラム、ダイレクトボタン  
(PROG/DIRECT)

**10** ストップ(停止)ボタン  
(■STOP)

- 演奏を停止させるときに押します。
- ディスクの回転は停止し、TRACK NO. に総曲数、TIME に総演奏時間を表示します。
- プログラムしているときは、総プログラム曲数と総プログラム演奏時間を表示します。

**11** オートマチックサーチ・リバーズボタン  
(◀◀)

- ピックアップを後退させ、お好みの曲頭に移動させるときに押します。
- 演奏中または一時停止中に押した数だけ曲頭が後退します。

**12** オートマチックサーチ・フォワードボタン  
(▶▶)

- ピックアップを前進させ、お好みの曲頭に移動させるときに押します。
- 演奏中または一時停止中に押した数だけ曲頭が前進します。

**13** マニュアルサーチ・リバーズボタン  
(◀◀)

- 演奏を早戻しするときに押します。
- プレイ状態では押している間だけ音を出しながら早戻しします。
- ポーズ状態で押せば、プレイ状態で押した場合の約3倍の速度で、音を出さずに早戻しできます。

**14** マニュアルサーチ・フォワードボタン  
(▶▶)

- 演奏を早送りするときに押します。
- プレイ状態では押している間だけ音を出しながら早送りします。
- ポーズ状態で押せば、プレイ状態で押した場合の約3倍の速度で、音を出さずに早送りできます。

**15** プログラム、ダイレクトボタン  
(PROG/DIRECT)

- プログラムメモリーまたはダイレクト選曲する時、切り換えのために押します。  
(12~14ページ参照)

**16** リピートボタン  
(REPEAT ALL / 1)

- くり返し演奏をするときに押します。  
押すと **REPEAT** が点灯し、全曲をくり返し演奏します。もう一度押すとカレンダーが1曲だけ点灯し、そのトラックNO.のみくり返し演奏します。  
さらにもう一度押すと **REPEAT** が消灯し、リピート動作は解除されます。

- プログラム演奏中は、全曲リピートモードのみ可能となります。

**17** インデックスボタン  
(INDEX)

- 曲内のインデックスから演奏するときに押します。インデックスNO. はテンキーボタンで指定します。  
(13ページ参照)

**18** ランダムプレイボタン  
(RANDOM)

- ディスクに収録されている曲をランダム(無作為)な順序で演奏するときに押します。

**19** フェーダーボタン  
(FADER)

- フェードアウト・フェードインを行うとき押します。  
徐々に音を小さくしたり(フェードアウト)、大きくしたり(フェードイン)することができます。  
(21ページ参照)

**20** タイムモード、サイドA/B兼用ボタン  
(TIME / SIDE A / B)

- タイムエディット操作中、テープのA面、B面表示を切り替えるとき押します。(停止のみ)
- TIMEの表示を演奏中の経過時間、その曲の残り時間、残り全曲の残り時間と3種類の表示に切り替えるボタンです。  
(演奏中または一時停止中)  
通常、演奏中の経過時間を示していますが、一回このボタンを押すことにより **SINGLE** が点灯し、その曲の残り時間表示に切り替わります。もう一回押すと **SINGLE** が消え **TOTAL** が点灯し、残り全曲の残り時間を示します。さらにもう一回押すと **TOTAL** が消え、その曲の経過時間表示にもどります。  
なお、プログラム演奏中に **TOTAL** 点灯状態にするとプログラムされた全曲の残り時間を表示します。

**21** タイムエディット  
(TIME EDIT)

- テープ時間に合わせた編集をするとき押します。  
(18ページ参照)

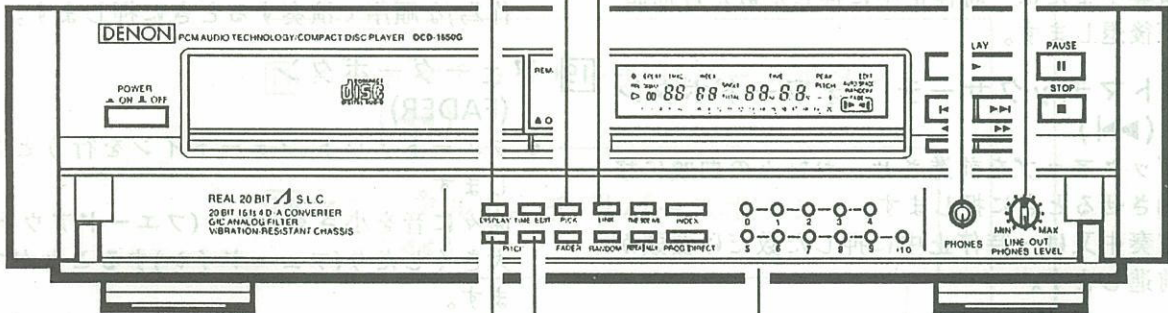
23 リンクボタン  
(LINK)

28 音量調節つまみ  
(LEVEL)

22 ピック  
(PICK)

27 ヘッドホンジャック  
(PHONES)

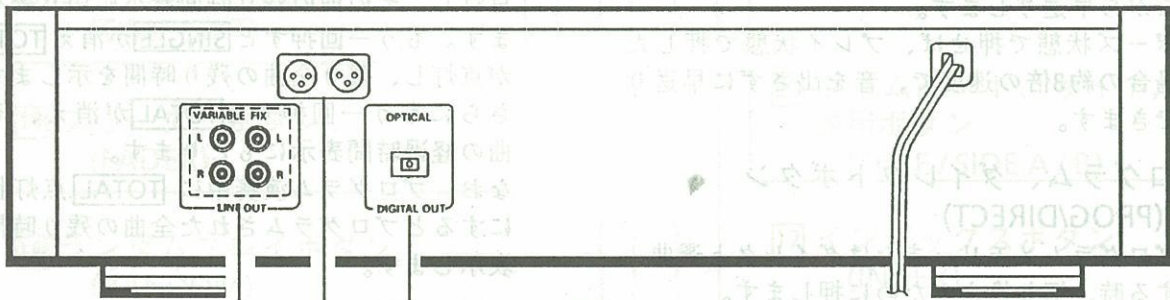
26 ディスプレーボタン  
(DISPLAY)



24 ピッチマイナスボタン  
(PITCH -)

25 ピッチプラスボタン  
(PITCH +)

29 トラップドア



32 デジタル出力端子  
(OPTICAL)

31 出力端子  
(BALANCE TYPE)

30 出力端子  
(FIX-VARIABLE)

- 22** ピック  
(PICK)
- タイムエディットで曲の入れ替えをするとき  
押します。  
(19ページ参照)

- 23** リンクボタン  
(LINK)
- 複数のディスクにまたがって編集をするとき  
押します。  
(20ページ参照)

- 24** ピッチマイナスボタン  
(PITCH-)
- 演奏中の速度を遅くするときに押します。  
(22ページ参照)

- 25** ピッチプラスボタン  
(PITCH+)
- 演奏中の速度を早くするときに押します。  
(22ページ参照)

- 26** ディスプレーボタン  
(DISPLAY)
- 表示の明るさを変えるときに押します。
  - 1回押すと約 $\frac{2}{3}$ の明るさになります。
  - さらに1回押すと約 $\frac{1}{3}$ の明るさになります。
  - さらに1回押すと演奏中は全ての表示が消え、演奏中以外はトラックナンバーのみ表示  
します。

- 27** ヘッドホンジャック  
(PHONES)
- ヘッドホンでお楽しみいただく時に使用しま  
す。  
(ヘッドホン別売)

- 28** 音量調節つまみ  
(LEVEL)
- ヘッドホンの出力レベル(音量)を調節する  
ときに使用します。

- 29** トラップドア
- このドアの右端を押すとドアが開きます。
  - 閉じるときはドアの右端を押してください。  
『カチッ』とロック音がして、ドアが閉まり  
ます。

- 30** 出力端子  
(FIX-VARIABLE)
- アンプの入力端子に接続してください。  
(10ページ『接続のしかた』参照)

- 31** 出力端子  
(BALANCE TYPE)
- キャノンコネクターは出力インピーダンス  
600Ωのバランス出力です。アンプのバラ  
ンス入力端子に接続してお使いください。(日  
本レコード協会規格に準じています。)
  - キャノンコネクター信号配列



1番ピン COMMON(コモン)  
2番ピン COLD(コールド)  
3番ピン HOT(ホット)

- 使用コネクター:キャノンXLR-3-32タイプ

**ご注意**

HOT(ホット)またはCOLD(コールド)と  
COMMON(コモン)を短絡して使用しな  
いでください。

- 32** デジタル出力端子  
(OPTICAL)
- デジタルデータを光で出力します。
  - 接続するファイバーコードについては、お近  
くの当社『お客様相談センター』、または営  
業所、出張所にご相談ください。

**連続動作**

**11**オートマチックサーチ・リバーズボタ  
ン、**12**オートマチックサーチ・フォー  
ワードボタン、**7**+10ボタン、**24**ピッチマイ  
ナスボタン、**25**ピッチプラスボタンは押  
し続けると連続的に動作します。

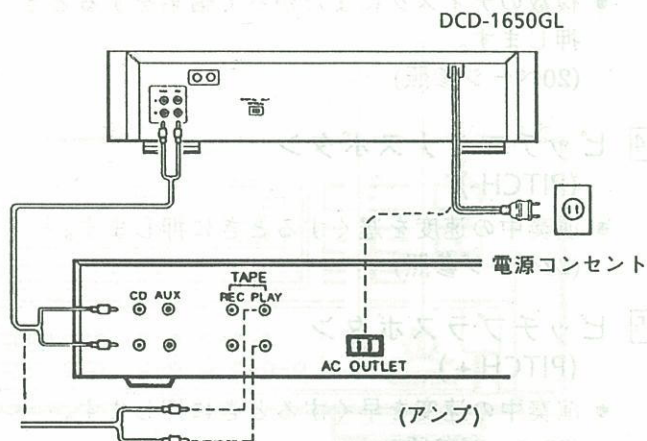
## 6 接続のしかた

### ご注意

- 接続コード(ピンコード)の接続や取りはずしを行うときは、各機器の電源スイッチを切ってください。
- 接続は、コードの左(L)・右(R)とプレーヤー、アンプのL・Rをよくたしかめて間違いのないように接続してください。
- アンプの接続はCDかAUXまたはTAPE PLAYへ接続してください。
- ピンプラグは奥まできちんと差し込まないと接続不良を起こしやすいので、ご注意ください。

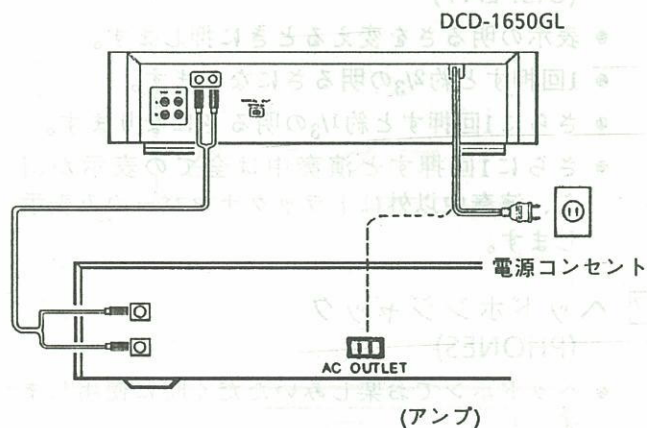
### 1 出力端子(FIX-VARIABLE)の接続

付属の接続コード(ピンコード)で、本機の出力端子(FIX-VARIABLE)の左(L)、右(R)と、アンプの入力端子CDか、AUXまたはTAPE PLAYの左(L)・右(R)を接続します。出力端子には、出力可変端子(VARIABLE)と出力固定端子(FIX)があります。本機から出力レベルを可変する場合は、必ず出力可変端子へ接続してください。



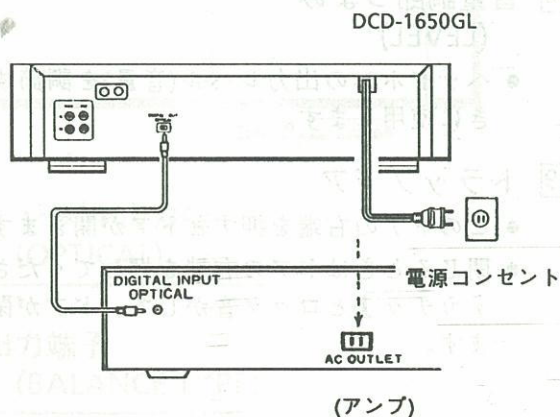
### 2 出力端子(BALANCE TYPE)の接続

3Pコードで本体の出力端子(BALANCE TYPE)の左(L)、右(R)と、アンプのバランス入力端子左(L)、右(R)を接続します。



### 3 デジタル出力端子(OPTICAL)の接続

光ファイバーコードは本体のデジタル出力端子(OPTICAL)とデジタルプロセッサーまたはD/AユニットのOPTICAL入力に接続してください。



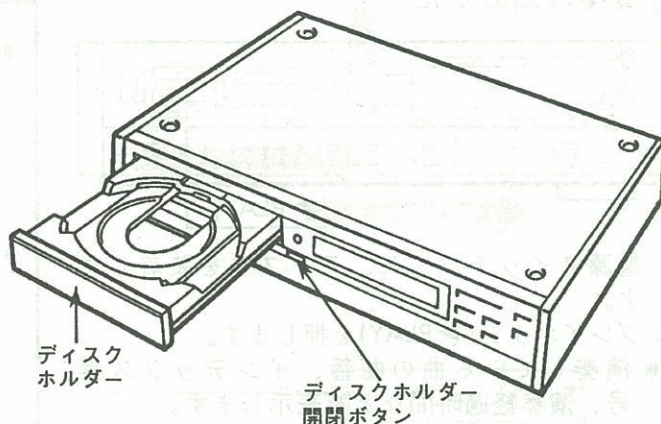
## 7 ディスクホルダーの開閉とディスクの入れかた

### ■ ディスクホルダーの開閉(電源を入れないとディスクホルダーの開閉はできません。)

- ① 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れてください。
- ② ディスクホルダー開閉ボタン (▲ OPEN / CLOSE) を押ししてください。

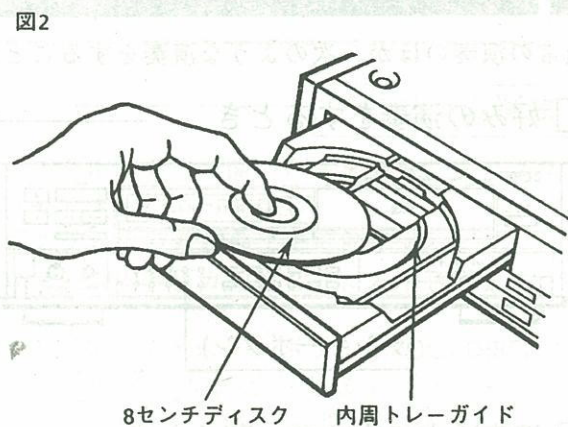
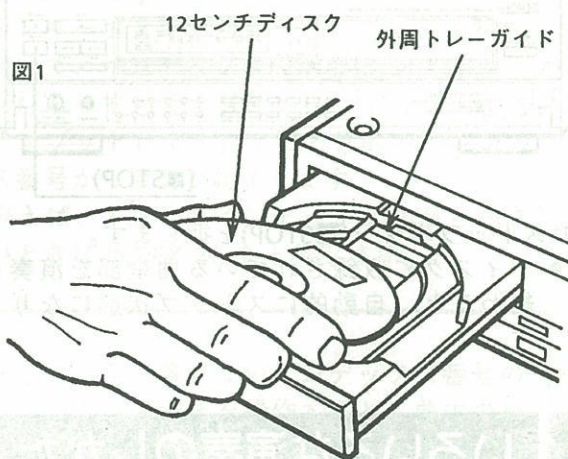
#### ご注意

- ボタン操作は、鉛筆などでたたくような事はしないでください。



### ■ ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクホルダーが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12センチディスクは外周トレーガイド(図1)に合せ、8センチディスクは内周トレーガイド(図2)に合わせて水平にのせてください。
- ディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN / CLOSE)を押せば、ディスクホルダーは自動的に装着されます。
- ディスクが装着されると、TRACK NO. にディスクの総曲数、TIME に総時間が表示されます。
- ディスクホルダーは、プレイボタン(▶ PLAY)または、ポーズボタン(⏸ PAUSE)、テンキーボタン、ディスクホルダーを押しても装着できます。  
プレイボタンで装着したときは1曲目より演奏します。



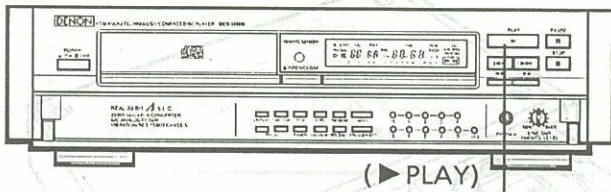
#### ご注意

- 万一、指などをはさんだ場合は、あわてずに開閉ボタン(▲ OPEN / CLOSE)を押してください。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 電源が切られている状態でディスクホルダーを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

## 8 通常の演奏のしかた

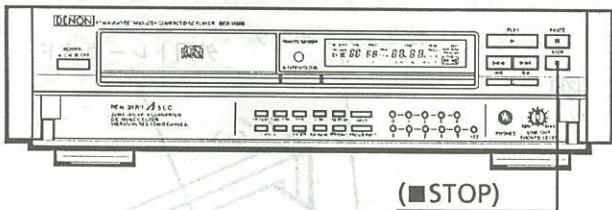
まず、順番に演奏してみましょう。

### 1 演奏の始めかた



- ① 電源スイッチを入れ、ディスクを装着します。
- ② プレイボタン(▶PLAY)を押します。
  - 演奏している曲の曲番、インデックス番号、演奏経過時間などを表示します。

### 2 演奏の止めかた



- ① ストップボタン(■STOP)を押します。
  - ディスクに収録されている曲全部を演奏し終わると、自動的にストップ状態になります。

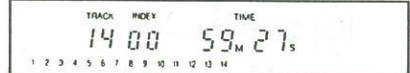
### ご注意

- ディスクが無い場合や裏返しに装着した場合は、TRACK NO. INDEX TIME がゼロ表示となりカレンダーは全部点灯します。

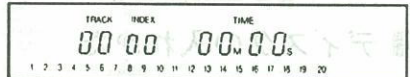


- ディスク最内周の情報をディスクの傷、汚れなどで正しく読み取れなかった場合は下図のようになります。この場合、全曲、1曲残り時間の表示はできません。また、曲の頭出しなどに時間がかかる場合があります。

正常な場合



正しく読み取れない場合



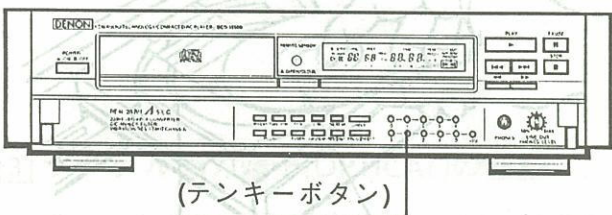
- ディスクを装着したまま、電源を入れた直後にプレイボタン、ポーズボタン等を押すと、表示窓のTRACK、INDEX、TIME、M、Sの文字が消えたままになることがあります。これは故障ではありません。その場合には、一旦ストップボタンを押すと表示が点灯します。その後、再度お好みのボタンを押して下さい。

## 9 いろいろな演奏のしかた

通常の演奏のほか、次のような演奏をすることができます。

### 1 好みの演奏をするとき

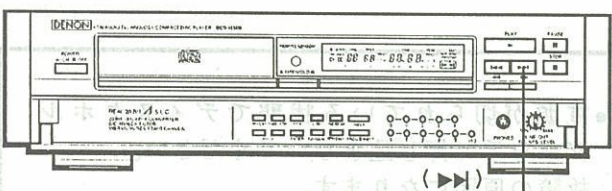
#### ダイレクト選曲



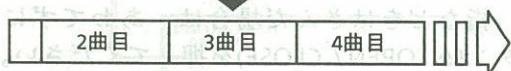
- ① 演奏したい曲番をテンキーボタンおよび+10ボタンで入力してください。  
例えば、4曲目を演奏したいときには4、12曲目を演奏させたいときには+10 2と押してください。その曲から演奏が始まります。

### 2 演奏途中で次の曲に移るとき

#### オートマチックサーチ



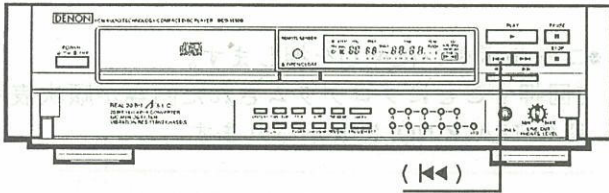
オートマチックサーチ・フォワードボタン(▶▶)を押す。



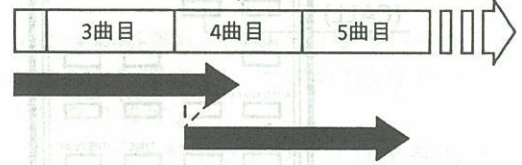
- ① オートマチックサーチ・フォワードボタン(▶▶)を押します。
  - 選曲動作(サーチ)中にさらにオートマチックサーチ・フォワードボタン(▶▶)を押すと、次々に後の曲の頭に移ることができます。

### 3 演奏途中でその曲の頭に戻るとき

#### オートマチックサーチ



オートマチックサーチ・リバーズボタン(◀◀)を押す。

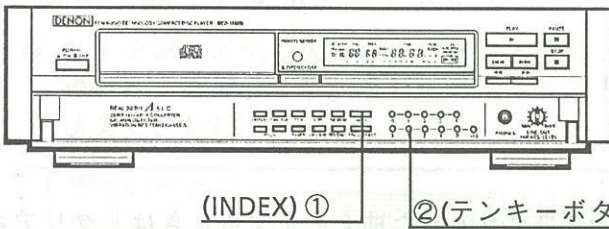


- ① オートマチックサーチ・リバーズボタン(◀◀)を押します。
- 選曲動作中にさらにオートマチックサーチ・リバーズボタン(◀◀)を押すと、次々に前の曲の頭に移ることができます。

### 4 曲の中からさらに細かい部分を探るとき

#### インデックスサーチ

- 曲の中のインデックスによって分けられた部分を選び、頭出しをすることができます。



- ① インデックスボタンを押すと曲番表示部 (TRACK NO.)に - -が点灯します。
- ② テンキーボタンで曲番をインプットします。続いて、インデックス表示部 (INDEX)に - -が点灯しますので、目的のインデックス番号をインプットします。すると目的のインデックス番号から演奏が始まります。例えば、3曲目のインデックス2から聴きたいときは INDEX 3、2 と押します。

#### インデックスについて

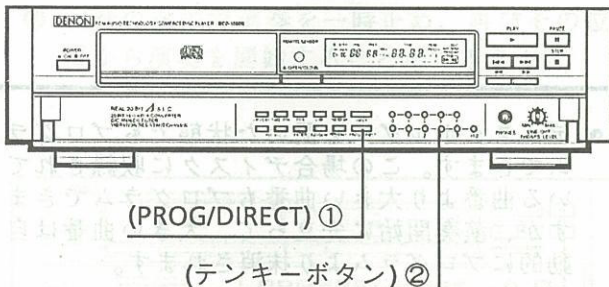
- インデックスとは、ひとつの曲をさらに細かい部分に分けて番号をつけたものです。演奏する前にディスクの解説書によってお確かめください。
- ディスクの解説書にないインデックス番号のインデックスサーチを操作すると、曲中の最後のインデックス番号を演奏します。

### 5 好みの曲を好みの順番で演奏するとき

#### プログラム選曲

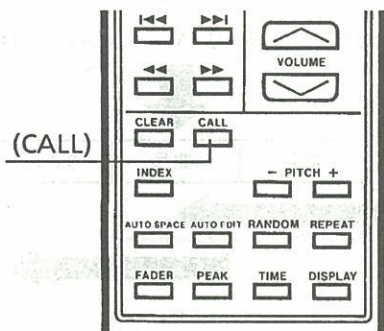
- ディスクに収録されている曲の中から好みの曲を選び、好みの順番にプログラムして演奏することができます。

#### (1) プログラムのしかた



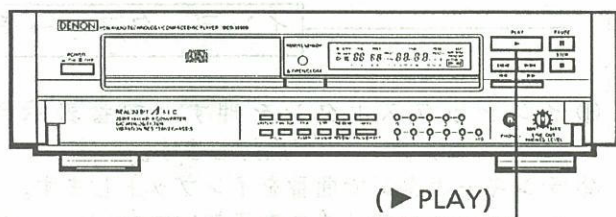
- ディスクホルダーを開いたままでも、プログラム可能です。
- プログラムは最大20曲まで可能です。
- プログラム内容はカレンダーに表示されます。
- プログラム、ダイレクトボタン (PROG / DIRECT) を押すと **PROGRAM** が点灯します。テンキーボタンと +10 ボタンを使ってプログラムする曲を選曲します。例えば、3曲目、12曲目、7曲目とプログラムする場合は、**PROG / DIRECT**、**3**、**+10**、**2**、**7** と押します。曲を指定する毎にカレンダーにはその曲番が点灯し、TRACK NO. に曲番、INDEX にプログラムされた曲数、時間表示部 (TIME) にプログラムされた曲の総演奏時間が表示されます。プログラム後一定時間たつと、TRACK NO. にプログラム総曲数が表示され、時間表示部にはプログラム総演奏時間が表示されます。

〈2〉プログラムした曲の確認(リモコンのみ)



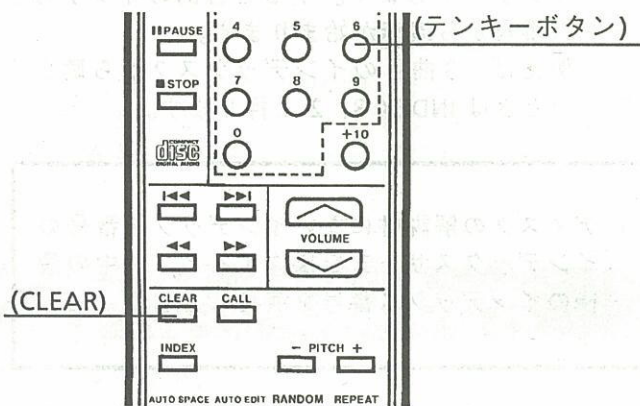
- コールボタン(CALL)を押します。  
1回押すごとにプログラムされた内容が順次表示窓の TRACK NO. に表示されます。

〈3〉プログラム演奏のしかた



- プレイボタン(▶PLAY)を押すと、プログラムした順に演奏します。

〈4〉プログラム内容を訂正するとき(リモコンのみ)



- プログラムした曲を訂正するときは、クリアボタン(CLEAR)を押してから正しい曲をプログラムしてください。最後にプログラムされた曲が正しい曲に変わります。
- プログラム中の曲を消すときにはコールボタン(CALL)でその曲を呼び出し、クリアボタン(CLEAR)を押すと消えます。

〈5〉プログラム内容を全て取り消すとき

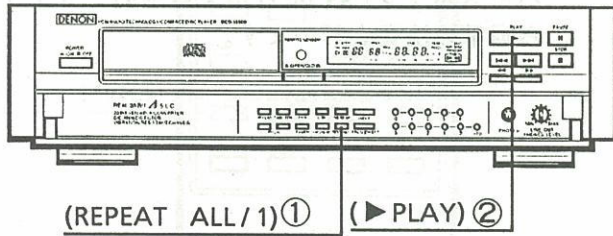
- もう一度プログラム、ダイレクトボタン(PROG/DIRECT)を押すと、プログラムされた内容は全て取り消されます。また、ディスクホルダー開閉ボタン(▲OPEN/CLOSE)を押してもプログラムされた内容はすべて取り消されます。
- プログラム演奏中にプログラム、ダイレクトボタン(PROG/DIRECT)を押すとプログラムは解除され、現在演奏中の曲から最後の曲まで連続演奏します。

ご注意

- 演奏中または一時停止中にプログラム操作をした場合は、一曲目に現在演奏中の曲がプログラムされます。この状態で、さらにプログラムの追加ができますが、プログラム曲数や演奏時間の表示はしません。
- プログラム演奏中はダイレクト選曲は出来ません。テンキーボタンを押すことにより、その曲番の曲がプログラムの最後に追加プログラムされます。
- ディスクホルダーを開いた状態でもプログラムできます。この場合ディスクに収録されている曲番より大きい曲番もプログラムできますが、演奏開始に先立って、大きい曲番は自動的にプログラムより抹消されます。
- 1曲残り時間の表示は、ディスクの曲番が最初から20曲目までに限られます。
- プログラムしたときの総時間と、プログラム残り時間の表示も同様で、21曲目以降の曲番をプログラムした場合は表示しません。

6 全曲をくり返して演奏するとき

リピート演奏

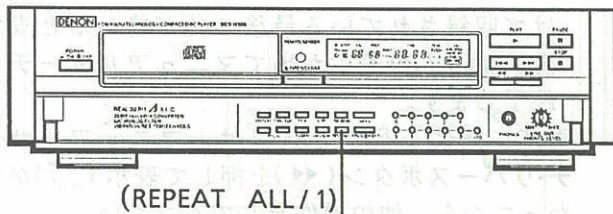


- リピートALL/1ボタンを押すとREPEATと表示が点灯します。  
 ※ ①②はどちらを先に押しても同じ動作をします。  
 ※ リピート演奏状態でもう1度リピートボタン(ALL/1)を押すと、次項の1曲リピートモードになります。
- 演奏中にリピートボタン(ALL/1)を押した場合もくり返し演奏(全曲)になります。
- くり返し演奏を取り消すときは、2度リピートボタン(ALL/1)を押してください。
- プログラム演奏中にリピートボタン(ALL/1)を押した場合は、プログラムされた順にくり返し演奏します。

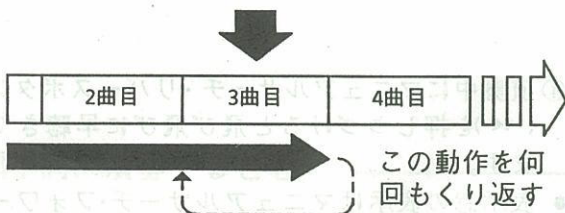
7 任意の1曲のみをくり返すとき

1曲リピート

- 音楽を聴いて気に入った曲があるときはこのボタンを押します。その曲のみくり返し演奏できます。



リピートボタン(ALL/1)を2回押す

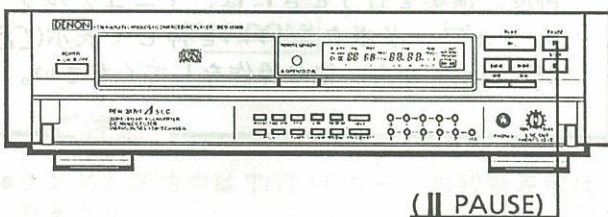


- 演奏中にリピートALL/1ボタンを2回押すとREPEATが点灯し、TRACK NO. 20以下の曲の場合、表示のカレンダーにそのTRACK NO.が点灯し、その曲をくり返し演奏します。  
 ※ TRACK NO. 21以上の場合、カレンダーは全く点灯しませんが1曲リピートの機能は可能です。
- ストップ状態でリピートALL/1ボタンを2回押すと、カレンダーのTRACK NO. 1が点灯し、1曲のみリピート演奏可能状態になります。演奏はプレイボタン(▶PLAY)を押すと始まります。
- 1曲リピートを取り消す場合、リピートALL/1ボタンをもう一度押してください。通常の演奏及び表示に切り換わります。

8 途中で演奏を一時的に止めておくとき

ポーズ

- 演奏の途中で演奏を一時止め、再びその位置から演奏を開始することができます。



- ※ 演奏を開始するときは、プレイボタン(▶PLAY)またはポーズボタン(⏸PAUSE)を押してください。

① ポーズボタン(⏸ PAUSE)を押す

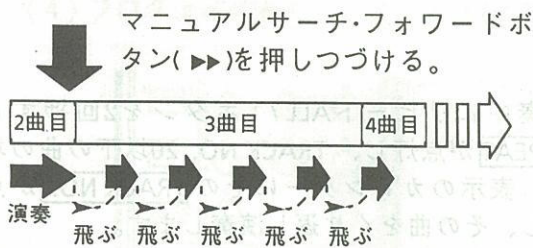
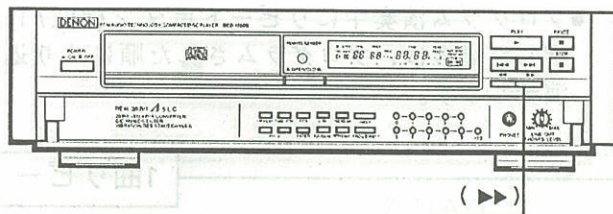


② プレイボタン(▶PLAY)またはポーズボタン(⏸ PAUSE)を押す。

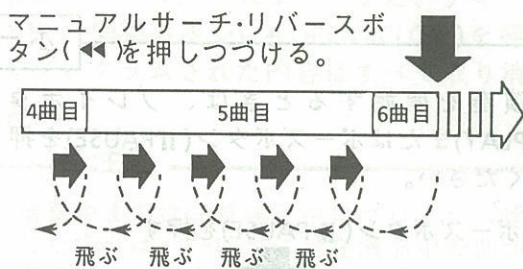
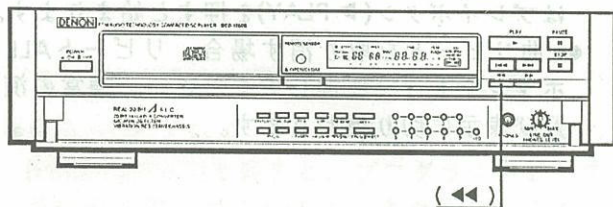
- 飛び飛びに早聴きすることができます。  
長い曲の中から好きな部分を探し、途中から演奏するときに便利です。

- マニュアルサーチ操作で、演奏したい位置が探し出せたらマニュアルサーチ・フォワードボタン(▶▶)またはマニュアルサーチ・リバースボタン(◀◀)から指を離せば、そこから通常の演奏を行います。

(1) マニュアルサーチ・フォワード



(2) マニュアルサーチ・リバース



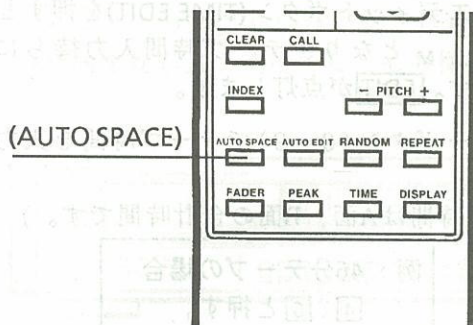
- ① 演奏中にマニュアルサーチ・フォワードボタン(▶▶)を押しつづけると飛び飛びに早聴きできます。
- 表示窓には早送りしている曲の曲番、インデックス番号、演奏中の曲の経過時間などが表示されます。
- ポーズ中のときは、プレイ中に比べ約3倍の早さで音を出さずに早送りします。
- マニュアルサーチ・フォワードボタンを押し続けて収録されている最後の曲が終わると表示窓には(??)の表示が出てマニュアルサーチは終了します。  
再度、演奏を行うときには、マニュアルサーチ・リバースボタン(◀◀)を押して表示(??)が変わってから、他の操作をしてください。

- ① 演奏中にマニュアルサーチ・リバースボタン(◀◀)を押しつづけると飛び飛びに早聴きできます。
- 表示窓の表示はマニュアルサーチ・フォワードの場合と同じです。
- ポーズ中のときは、プレイ中に比べ約3倍の早さで音を出さずに早戻しします。
- マニュアルサーチ・リバースボタンを押し続けて収録されている最初の曲のスタート場所まで戻ると、表示窓に(??)の表示が出てマニュアルサーチは終了します。  
再度、演奏を行うときには、マニュアルサーチ・フォワードボタン(▶▶)を押して表示(??)が変わってから、他の操作をしてください。

## 10 曲の間に無音部を挿入するとき

オートスペース

●曲の間に無音部を挿入します。編集の手間が省けます。(リモコンのみ)



- ① オートスペースボタンを押すと、**AUTO SPACE** が点灯します。
- ② プレイボタン(▶PLAY)を押すと演奏を開始します。  
各曲の演奏が終了すると、次の曲との間に約4秒の無音部を挿入します。
- ③ オートスペースを解除するには再びオートスペースボタンを押します。

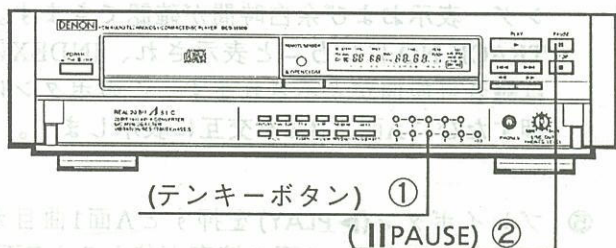
## 11 頭出しをして演奏を止めておくとき

ポーズ

### 〈1〉ダイレクト選曲による頭出し

●ダイレクト選曲によって選んだ曲の頭出しをした状態で一時停止しておく、カラオケの練習などに便利です。

●演奏を開始するときは、プレイボタン(▶PLAY)またはポーズボタン(⏸PAUSE)を押してください。



- ① テンキーボタンを押して、目的の曲をセットします。
- ② ポーズボタン(⏸PAUSE)を押します。

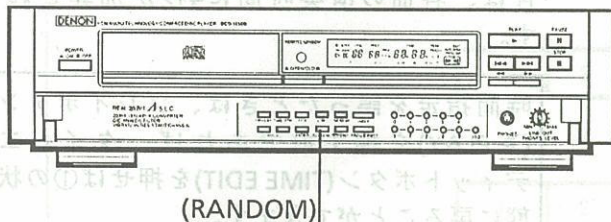
### 〈2〉プログラム選曲による頭出し

●プログラム選曲の操作をした後、ポーズボタン(⏸PAUSE)を押します。メモリーしたプログラムの第1曲目の頭出しを行い一時停止状態となります。

## 12 順不同に演奏するとき

ランダム選曲

●ディスクに収納されている曲をランダム(無作為)な順序で1回ずつ演奏することができます。



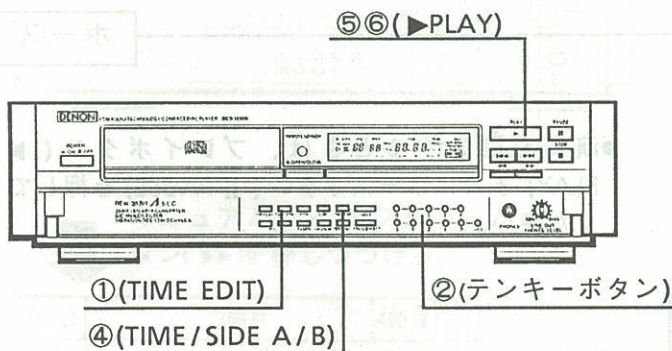
- ランダムボタン(RANDOM)を押すと**RANDOM**が点灯し、ランダム選曲が始まり自動的に演奏を開始します。
- プログラムをした状態でランダムボタン(RANDOM)を押すと、プログラムされた曲の中でランダム選曲ができます。
- リピート状態でランダムボタン(RANDOM)を押すと、一通りのランダム演奏の後、違ったパターンでランダム選曲が行え、以後毎回違ったパターンでランダム選曲が楽しめます。
- 選曲動作中、TRACK NO.にはディスクに収録されている1曲目から最終曲までの曲番号が高速でくり返して表示され、選曲が終了して演奏が始まるまで次の演奏曲はわかりません。

### ご注意

- ランダム選曲中はTOTALモードの残量表示はできません。
- オートエディット動作中およびタイムエディット動作中はランダムは演奏できません。

〈1〉テープの時間指定による編集機能

録音用カセットテープの長さ(テープ時間)に合わせ、効率の良い編集をすることができます。



ご注意

- 21曲以上収録されているディスクでは、タイムエディットは動作しません。
- タイムエディット動作中はオートマチックサーチボタン(◀◀・▶▶)や、マニュアルサーチボタン(◀◀・▶▶)の操作はできません。
- ストップボタン(■ STOP)、ディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)(リンクを除く)を押すとタイムエディットは解除されます。

タイムエディット

- ① タイムエディットボタン(TIME EDIT)を押すと「--- M」となり、テープ時間入力待ちになります。**EDIT**が点灯します。
- ② テンキーボタン(0~9)でテープ時間を入力します。(テープ時間はA面、B面の合計時間です。)

例：46分テープの場合  
④、⑥と押す。

- ③ テープ時間の指定が終わると、A面の録音可能曲がカレンダーに表示され、またA面テープの余白時間がTIMEに表示されます。TRACK NO.にはR-と表示され、INDEXには録音可能曲数が表示されます。
- ④ タイムモード、サイドA/B兼用ボタン(TIME SIDE A/B)を押すとB面の録音可能曲のカレンダー表示および余白時間が確認できます。TRACK NO.にはb-と表示され、INDEXには録音可能曲が表示されます。このボタンは押すたびにA面、B面を交互に表示します。
- ⑤ プレイボタン(▶PLAY)を押すとA面1曲目から演奏が始まり、A面の演奏が終わるとB面1曲目の頭で自動的にポーズになります。
- ⑥ 再度プレイボタン(▶PLAY)またはポーズボタン(⏸ PAUSE)を押すとプレイ状態となり、B面の演奏が終わると自動的にストップ状態になります。
- ⑦ プログラム選曲状態(10ページ参照)でも、タイムエディットは可能です。この場合、プログラム順に従いA面、B面に分けられます。オートスペース(AUTO SPACE)をONにした場合は、各曲の演奏時間に4秒が加算されます。

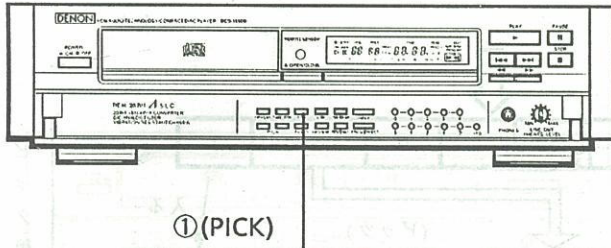
時間指定を誤ったときは、プレイボタン(▶PLAY)を押す前であれば、タイムエディットボタン(TIME EDIT)を押せば①の状態に戻ることができます。

## 〈2〉ピック機能

### ピック

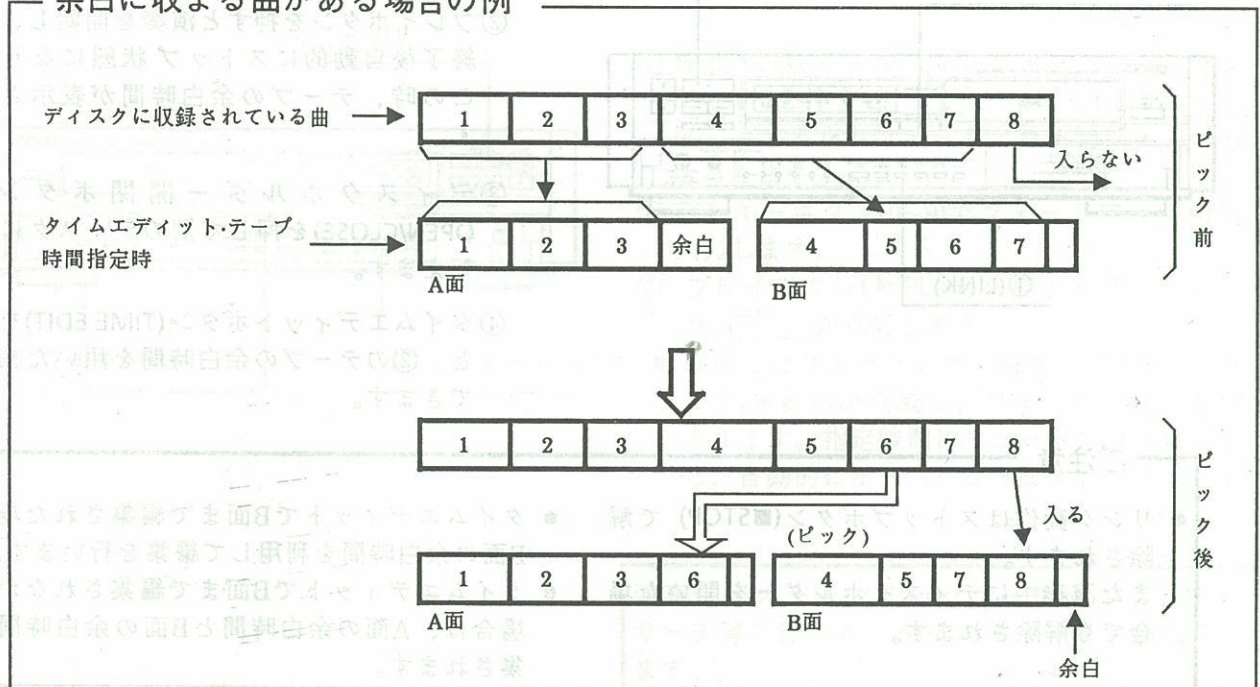
〈1〉タイムエディットでは、1曲目から順にまたはプログラムした順に曲を並べるため、テープの終端に大きな余白が残ることがあります。ピックはこの余白を少なくし、指定したテープの時間を効率良く使用するための機能です。

ピック操作は、タイムエディットのテープ時間指定後、プレイボタン(▶PLAY)を押すまでの間に行います。



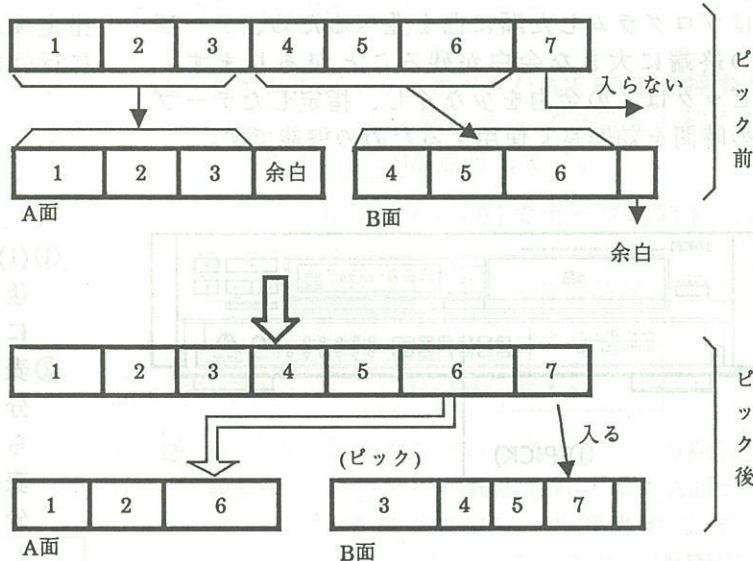
- ①(1)のタイムエディットで、テープ時間指定後、プレイボタン(▶PLAY)を押すまでの間にピックボタン(PICK)を押します。
- ②表示がA面になっている場合、A面の余白部分に『A面に確定した曲以外の曲』の中からピックを実行します。  
表示がB面になっている場合、B面の余白部分に『未確定の曲』の中からピックを実行します。
- ③A面(B面)の余白部分にピック可能な曲がない場合には、A面(B面)最後の曲をキャンセルして余白部分を増やし、新たな余白部分にピック可能な曲をピックします。  
このときA面からキャンセルされた曲は、自動的にB面に確定されます。  
A面(B面)最後の曲をキャンセルしてもピック可能な曲がない場合は、キャンセルを中止してもとのままととなります。

### 余白に収まる曲がある場合の例



余白に収まる曲がない場合

右図の様に余白に収まる曲がない場合、最後の曲(この場合3曲目)をキャンセルし、B面側の曲と入れ替えます。

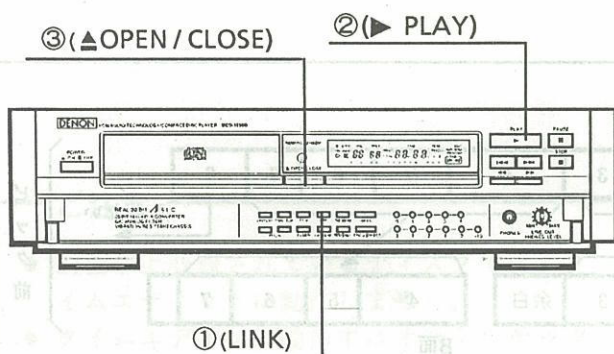


〈3〉リンク機能

リンク

リンク機能は、複数のディスクを続けて編集できる便利な機能です。

リンク操作は、タイムエディットのテープ時間指定後、演奏終了までの間に行います。



- ① リンクボタン(LINK)を押すと、**EDIT** が点滅します。
- ② プレイボタンを押すと演奏を開始し、演奏終了後自動的にストップ状態になります。この時、テープの余白時間が表示されます。
- ③ ディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)を押して別のディスクに入れ替えます。
- ④ タイムエディットボタン(TIME EDIT)を押すと、②のテープの余白時間を用いた編集ができます。

ご注意

- リンク動作はストップボタン(■STOP)で解除されます。また演奏中にディスクホルダーを開いた場合でも解除されます。
- タイムエディットでB面まで編集された場合、B面の余白時間を利用して編集を行います。
- タイムエディットでB面まで編集されなかった場合は、A面の余白時間とB面の余白時間に編集されます。

14 好みの位置でフェードアウトやフェードインするとき

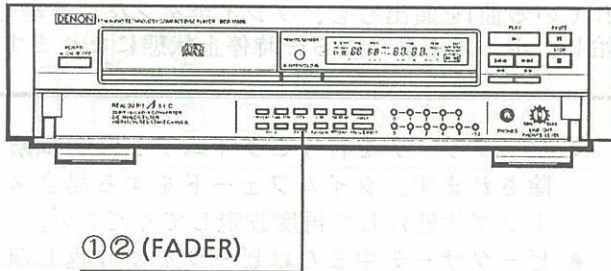
フェーダー機能

(アナログ出力のみ)

- 徐々に音を小さくしたり(フェードアウト)、徐々に音を大きくしたりする(フェードイン)機能です。

＜1＞演奏中に好みの位置でフェードアウトをしたりフェードインをすることができます。

マニュアルフェード



① フェードアウト

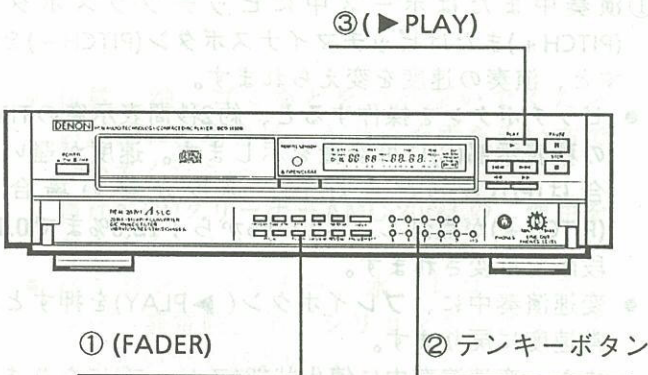
演奏中にフェーダーボタン(FADER)を押すと、約5秒でフェードアウトします。動作中は「FADE」が点灯し▶が点滅し、フェードアウトが終了すると自動的にポーズになります。

② フェードイン

一時停止状態(ポーズ)からフェーダーボタン(FADER)を押すと演奏状態(PLAY)になり、約3秒でフェードインします。動作中は「FADE」が点灯し◀が点滅します。

＜2＞あらかじめフェードアウトする時間が設定できます。

タイムフェード



① 停止状態(ストップ)でフェーダーボタン(FADER)を押すと「FADE」が点灯しTIMEが\_\_ M \_\_ となりフェードアウト時間入力待ちとなります。

② テンキーボタン(0~9)でフェードアウト時間入力します。

③ プレイボタン(▶PLAY)を押すと演奏が始まり、「FADE」が点灯します。

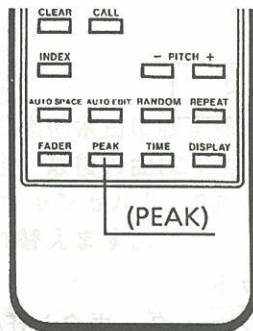
- 指定したフェードアウト時間の約5秒前になると▶表示が点滅し、フェードアウトが始まります。指定時間にフェードアウトは終了し、自動的にポーズになります。

演奏中にオートマチックサーチやマニュアルサーチ等を行うと、タイムフェードは解除されます。

## 15 ディスクのピークレベルを探るとき

## ピークサーチ

- ピーク部分を探し、その前後数秒をくり返し演奏します。テープなどの録音調整に便利です。(リモコンのみ)



- ① 停止状態(ストップ)でピークサーチボタン(PEAK)を押すと、**PEAK** が点滅し、レベルのピーク部分をサーチします。
- ② サーチ後 **PEAK** が点灯し、ピーク部分の前後数秒をくり返し演奏します。録音レベルを調節するときに便利です。
- ③ ピークサーチを解除するには、ストップボタン(■ STOP)を押します。
- ④ ピークサーチ中またはピークをくり返し演奏している時に、プレイボタン(▶PLAY)またはポーズボタン(⏸ PAUSE)を押すと1曲目(プログラム時はプログラムの1曲目、タイムエディット時は最初に選曲されている曲)を頭出しし、プレイボタンなら演奏を開始し、ポーズボタンなら一時停止状態になります。

### ご注意

- ピークサーチ機能は、ディスクのレベルを最初から終わりまで一定の間隔で読み取り、その中の最大値をピークとしています。そのため、ピークサーチには、しばらく時間がかかります。
- また、読み取るたびにピーク部分が変わることがあり、実際のピークレベルと多少異なることもあります。その差はわずかですので、録音レベルの調整にはほとんど支障ありません。

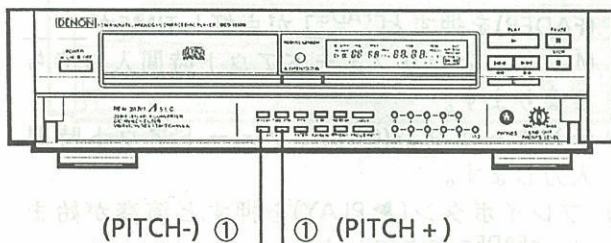
- ピークサーチを行うとタイムフェードは解除されます。タイムフェードをする場合ストップ状態にして再度設定してください。
- ピークサーチ中またはピークをくり返し演奏中はディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)、プレイボタン(▶PLAY)、ポーズボタン(⏸ PAUSE)、ストップボタン(■ STOP)以外のボタンは動作しません。

## 16 演奏の速度を変えるとき

## ピッチコントロール

- 演奏の速度を早くしたり、遅くしたりすることができます。(変速演奏)

(デジタルピッチコマンダー)



- ① 演奏中またはポーズ中にピッチプラスボタン(PITCH+)またはピッチマイナスポタン(PITCH-)を押すと、演奏の速度を変えられます。
- ピッチボタンを操作すると、約2秒間表示窓のTIMEの秒表示部(S)に可変量を示します。速度が遅い場合は(PITCH-)が点灯し、速度が早い場合は(PITCH+)が点灯し、-12.0%から+12.0%まで0.1%段階で可変されます。
  - 変速演奏中に、プレイボタン(▶PLAY)を押すと通常速度に戻ります。  
また、変速演奏中に停止状態(ストップ)になると、変速の設定は解除されます。

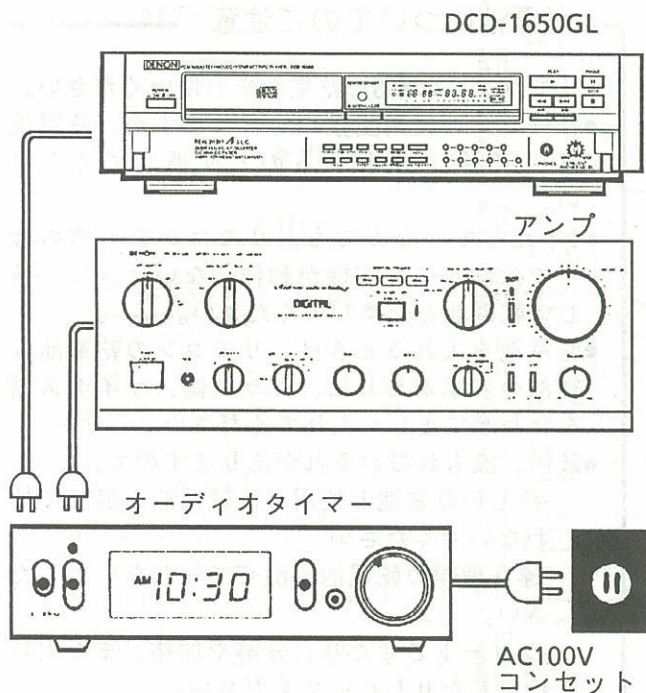
### ご注意

- 変速演奏中(PITCH点灯中)、デジタル出力端子(OPTICAL)からデータは出力されません。データを出力する場合、プレイボタン(▶PLAY)を押して通常速度に戻してください。
- 速度を変化させますと、演奏の音程も変化します。
- 変速演奏中、時間表示(演奏中の経過時間、その曲の残り時間、残り全曲の残り時間)は正確ではありません。

- 変速演奏中に、プレイボタン(▶PLAY)を押して通常速度に戻すときに最大約3秒かかります。この間、ディスクホルダー開閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)とストップボタン(■ STOP)以外のボタンは動作しません。
- タイムエディット動作中に、速度を変化させますと、演奏の合計時間も変化しますので、余白時間の計算は正確ではありません。

## 10 タイマー演奏のしかた

### 1 接続のしかた



### 2 操作のしかた

1. 接続した各機器の電源スイッチを『ON』にします。
2. アンプの入力切り替えスイッチを接続した端子に合わせ切り替えます。
3. 忘れずに本機にディスクを入れておきます。
4. 現在時刻を確認し、オーディオタイマーを希望時刻にセットします。
5. オーディオタイマーを『ON』にします。このときオーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。
6. 希望時刻になると各機器の電源が入り、1曲目から演奏を始めます。

## 11 コンパクトディスクについて

### 1 取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、かわいた柔らかい布で拭いてください。  
当社製CDクリーナーAMC-20/21のご使用をおすすめします。
- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。

- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面(印刷側)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がつくことがあります。ヘアドライヤーなどで乾かささないでください。

### 2 保存についてのご注意

- 演奏後は、必ずディスクをプレーヤーから取り出してください。
- ほこり、キズ、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保存してください。

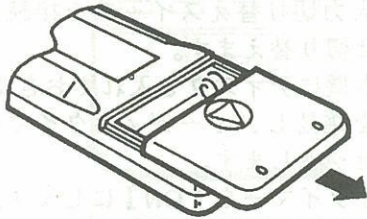
- 次のような場所には置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ。
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ。
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ。

## 12 リモコンによる演奏のしかた

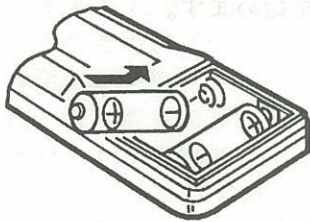
付属のリモートコントロールユニット(リモコン)RC-240を使うと、離れたところからCDプレーヤーをコントロールすることができます。

### 1 乾電池の入れかた

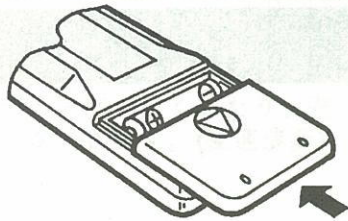
- ① リモートコントロールユニットの裏ぶたをはずしてください。



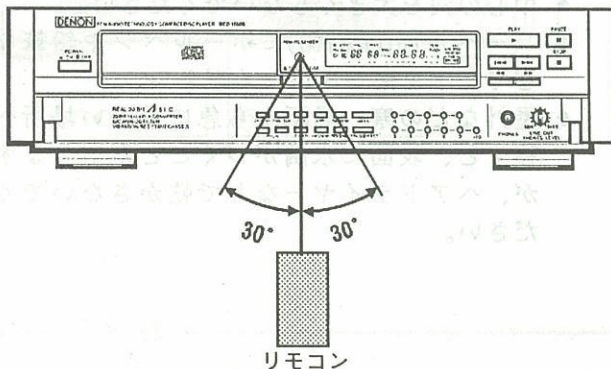
- ② R6P(単3形)乾電池2個を、それぞれ乾電池収納部の表示どおりに入れてください。



- ③ 裏ぶたを元どおりにしてください。



### 2 使いかた



- リモートコントロールユニットでは、本体にある操作と同様の機能がありますが、次の操作はできません。

- ①電源のON/OFF
- ②タイムエディット
- ③ピック
- ④リンク
- ⑤タイムモード、サイドA/B切り替え

### 乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をお使いください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年たっていないくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに、プラス側、マイナス側を合わせて正しく入れてください。
- 破損、液もれのおそれがありますので、
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使わないでください
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
  - ・ショートさせたり、分解や加熱、また火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用されないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一、乾電池の液もれがおこったときは、乾電池収納部についた液もれをよくふきとってから、新しい乾電池を入れてください。

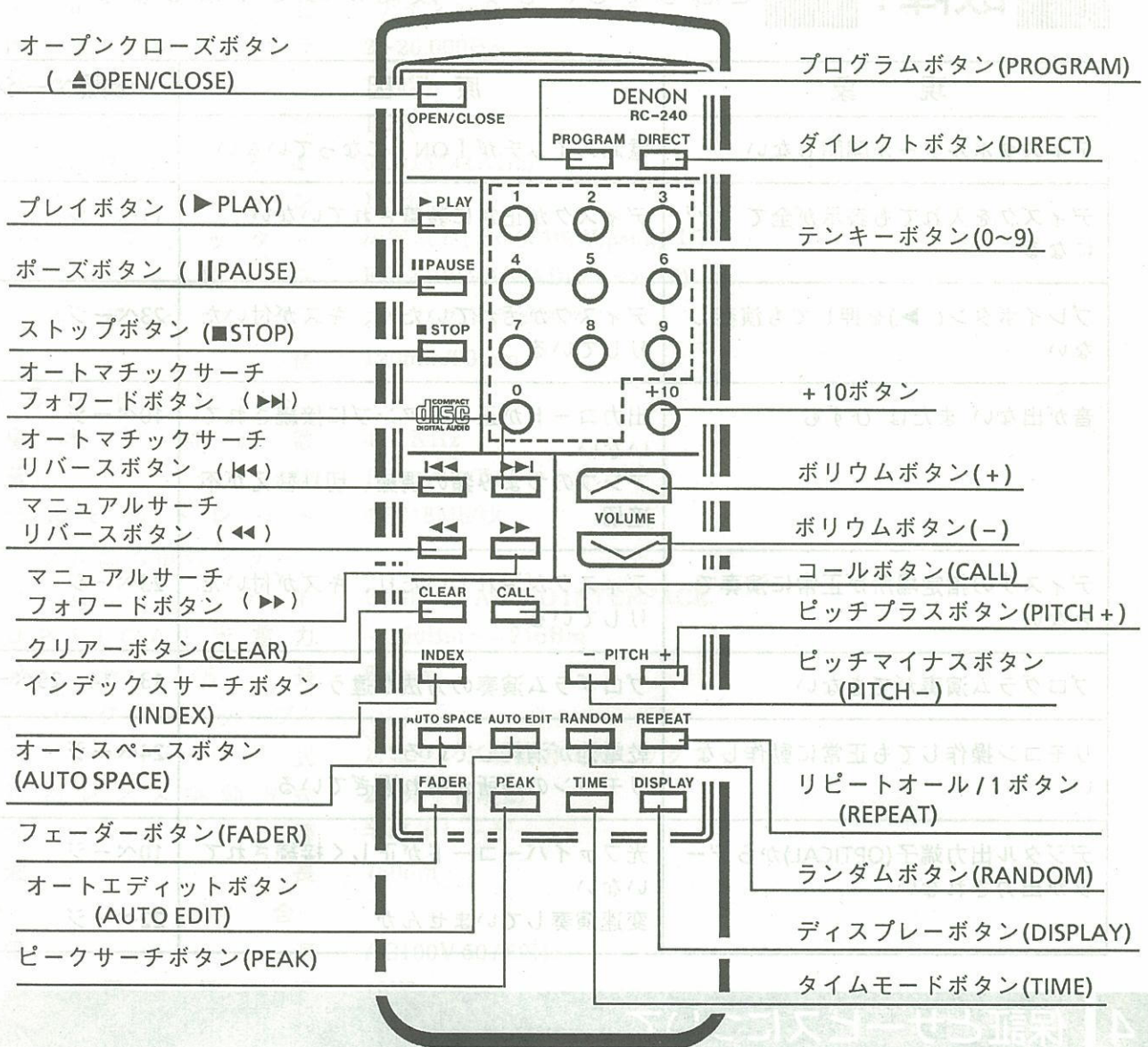
- リモートコントロールユニットは、図のように受光部に向けて使用してください。

- 信号を受信すると、表示窓のリモコン受信表示が点灯します。

- リモコンは、直線距離では約8m離れた所まで使用できますが、障害物があったり光軸の傾きなどがあると受信距離は短くなります。

### 使用上のご注意

- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。
- 赤外線受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部の間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。



### ● ダイレクト選曲

通常の演奏は、テンキーボタンおよび+10ボタンを押すだけで、好みの曲がダイレクトに選曲でき演奏が行えます。

### ● 曲番キーの押し方

9曲目まではテンキーを押して選曲します。10曲目以上は+10ボタンを押してからテンキーボタンを押してください。  
(例：22曲目を選ぶとき、+10、+10、2の順でボタンを押す。)

### ● プログラム選曲

(演奏中は、現在再生している曲番がプログラム第1曲目になります。)

プログラム(PROGRAM)を押してから、テンキーボタンおよび+10ボタンを押してください。

例：PROGRAM → 3 → +10、1 → 5 → (3曲目、11曲目、5曲目……をプログラム)  
プログラムを解除するときは、ダイレクトボタン(DIRECT)を押してください。

## 13 故障かな? と思う前に

故障? と思っても、もう一度確かめてみましょう

現象	原因	参照ページ
ディスクホルダーが開閉しない	電源スイッチが「ON」になっていない	
ディスクを入れても表示が全てになる	ディスクが正常に装着されていない	11ページ
プレイボタン(▶)を押しても演奏しない	ディスクが汚れていたり、キズが付いたりしている	23ページ
音が出ない または ひずむ	出力コードが正しくアンプに接続されていない アンプのつまみ類の調節、切り替えが不適切	10ページ
ディスクの指定場所が正常に演奏できない	ディスクが汚れていたり、キズが付いたりしている	23ページ
プログラム演奏ができない	プログラム演奏の方法が違う	13、14、25ページ
リモコン操作しても正常に動作しない	乾電池が消耗している リモコンの場所が離れ過ぎている	24ページ
デジタル出力端子(OPTICAL)からデータが出力されない	光ファイバーコードが正しく接続されていない 変速演奏していませんか	10ページ 22ページ

## 14 保証とサービスについて

- 1 この商品には、保証書が添付されております。保証書は、所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5 なお、保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店か、お近くの当社「お客様相談センター」、または営業所、出張所(コロムビアサービス網一覧表をご参照ください)にご相談ください。

■オーディオ	
チャンネル数	2チャンネル
周波数特性	2~20.000Hz
ダイナミックレンジ	100dB
S/N比	115dB
高調波ひずみ率	0.0018%(1KHz)
セパレーション	110dB
ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.peak)以下
出力電圧	FIX2.0V(VARIABLE0~2.0V)
■使用ディスク	
直径	120mm/80mm
■信号フォーマット	
標本化周波数	44.1KHz
量子化数	16bitリニア/チャンネル
伝送ビットレート	4.3218Mb/秒
■デジタル出力信号マット	
フォーマット	DIGITAL AUDIO INTERFACE
OPTICAL光電力	-15dBm~-21dBm
発光波長	660nm
■ピックアップ	
方式	対物レンズ駆動方式光ピックアップ
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm
■総合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電源	19W
外形寸法	(幅)470×(高さ)122×(奥行)360mm
重量	12.5Kg
■機能および表示	
機能	ダイレクト選曲、プログラム選曲、リピート演奏(1曲、全曲)、オートマッチクサーチ、マニュアルサーチ、インデックスサーチ、タイムモード、コール、オートスペース、タイムエディット、オートエディット、フェーダ、ピック、リンク、ランダムプレイ、ピークサーチ、ディスプレイ、ピッチコントロール、他
表示その他	曲番、インデックス、タイム、プログラム、他 ヘッドホンジャック(レベル可変)
■リモートコントロールユニット	
リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3VR6P(単3形)乾電池2個使用
外形寸法	(幅)60×(高さ)177×(奥行)18mm
重量	100g(乾電池含む)

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。  
 ※本来を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

# DENON

## 日本コロムビア株式会社

本社 〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14

TEL 03(3584)8111(大代表)

後日のために記入しておいてください。

購入店名： \_\_\_\_\_ 電話（ \_\_\_\_\_ ）

ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日